

太

題

但地方や引換代金の豆酮應すいのい

朝鮮和部主 金 靴部

泰龍



增 築 落 成 紀 念











部、經濟報部、鮮鞋部二部臺設置京至中一等職工數十 般一層擴張引為され營業場所是左引 下明月同胞諸賢의愛護さなき多蒙さな營業の日益繁旨言の民今の日的が明是八十二結果之十餘年前十日 金泰龍商店の中七看板 增築紀念 으로 當分

変願させき伏望 ユ正直平實地を行むe1本人 寫眞四如り增築さみ洋靴

京城府敦義洞一 四五番地(元長春新味)

金拉拉斯

州支廳前忠清北道忠

.,			+ :	<b>5</b> E	1	第		, 1	H	<b>-</b> -)F	五	r+i	E大				報			B		ميد دو	魚			朝							辛曆	盗		(可認	2物值	巨郵沫	IE:	第)		(四)	<u></u>
<b>南大門東京 竹高並 3</b>	ひいる マーコー おってもない といる マーコー おりまり という おりかい きらい こうない こうない こうない こうない こうない こうない こうない こうな	바으로 눈이동말 아지머리	司号三、八名音なり中、科及	기를 보시하는 그목으로부터 기를 보내들고 그목으로부터 등자기에 있은 등장하는	中山田町10円名 苦今の豆は	마니그용의 무이야수?	ション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ター「外中二の テ野喜」 早日	以名的 母川曼中共小山山山山 山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山山	말호바 <b>와</b> 갓치 도	니 디 잇 느냐 ? 패 ᄼ	いかるからはこれを	量スピロ『コポビ	大学一支田 春心	러진입으로 말는참잘한다요!	不民心田 二州	母了二周月的一日日初	19世央列 8	五星 经人品系对的 岩色天星	나는 이로구하아 출것이 나 다	몸으로 오모함은업도사들이	에서 불편되었으 보고목이	でするこれでは、一切を見るこれでは、 これを言うない。 これを言うない これをいい これをいいる これをいい これをいいる これをいい これをいいる これをいい これをいいる これをいい これをいいる これをいる これをいいる これをいる これをい	では、	当外や大明己 の自己意意をで	전돌이무삼돈이잇스라이아지	三日でいるいでは、これにはいいない。	九日四名四四世名 十二五百十二八八	さいとう かいいか から から から という という からいい とし からいら からい からい からい からい からい からい からい からい から	五世を司記されば、アールを登りとれる	支し	나라	로파의 타모여	四角量立 オロセ	エーロ 日早年日日 とり アーロス の 外外 アードリング・アードリング・アーロス	발	社会とはいるというできる。		にいるというでは、	지부터인간은황금의	八 《 <b>*</b> 杆	金剛	
100億七円の一体 顕著前 ホミの	計で咀管エ多大変移出高量活常例の「山北曇月三計でユ年」替い何市間の移出名。三四百一切通りの中部業の報項都沿三四百一切	1月後1年1月後年1日での支那日本等地三輪	明川産の写如此す名で口が積置を大豆 写	の無対い其次の主要の産物の大利のの無対に其次の主要の産物を対して	上別上可他地可移出	主要是在物心平		可说	도 얏	元常日南天 三元常日南 金萬坤	19章 歳りをといる。 19章 はいる。 19章 歳りをといる。 19章 はいる。	三商務組合き設 市	一届	日有餘百列藩ウン市街番増加すら今日の至うらと	写記のTanal というでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	二有古の草稿	発生と	作集でいるコース	神で田口沙場の一草一木の不	の日 ・	日馬澤州市場役立		火日を考しはいかい		2月 上門香州山里之子	4 計算 サミスの ロックス できょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう はい かい こうしょう かいかい かいかい しょう かいかい しょう	おいこと ちゅうこういい	바우에다 집어머지러니	正三世 도로나의 정면의	上いれたら、コピッと音音介が続	हें इस्त्री प्र	야달나고? 나도물론对一、 더니 이케와서도 감倉 !!!!	四名をかめ立る不量を	というない はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいま	주인도가시기팀기교 크 주인도가시기팀기교 크 주인도가시기팀기교 크	변보 여기와서도 그만함(A)	为 男母塾企出了写正是山西	日本の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	等。 0 世紀 《世紀》 0 世紀 《世紀》 1 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	· · · · · · · · · · · · · ·	妆作 第五次	石	
的人。(a) 是一、	四十年頃の解解でゆりであると野野ない前日本の人留学会終了での明夜の三葉堂の三誌間でダンド氏と「黒曜二議堂の三誌間でダンド氏と「黒曜」	察	金殷濟氏日本	は、現外)では、現代の	の配付に付き pinut 医面付ける 動縁で呼音般行政の著々進行を用	を態度品面を見る	の依での野発与コ代の金銭橋となるのでは、一人のおりのでは、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	郡は東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東	四日豆定期總督量開でコ大正者の日豆京安金剛組合所と四月二世	州郡松坡金融組合所5四月二四五	以上 以上 其会	以 M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	通言 日本	四、私立學校创對並取締方法宣 公	最使用利益事 一切朝鮮語 布	16日間教授川語と川語版本 佐本町外町全部朝鮮語三編纂。	、普通學校의教科書と日語語では	胃通學校区最少限度呈一面  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	曹蠡	實	製 州	<b>写</b> 人	<i>10</i> 3 —	京の父とい該別成會의陳何を	4共可携帶陳情委員金秉圭、 10の提案三科での作成立建議 10回	型四十餘名三連署三同教育調査委 後三丁 さい釜山例月曾々員及東菜 行志 後三年 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	以下名の東署の陳青書章作式 「「「「「」」「「」」「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」	「京成州中閣暦 5. と明神教育 」「京成州中閣暦 9. 最紅柱 1. のである。「京志百勝名。「京志百勝名。「京志百勝名。「京志百勝名。「京志百勝名。「京志百勝名。「京志百勝名。「京志百勝名。「京本 明神教育 コード・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	去二十四、五兩日釜山5分朝鮮 校。	局の問題は変更なの	e詳細事項oll,詳日限平義支列。 機習金(毎月五十銭式)列	_ 62	# 100 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	時間時間毎日午後七時早日早の三個月間	· 牌替则日。以一大正十年五月 日母、不康)	が中で、中は、受賞と「市民からなる」という。「大学者を含せ、速々中込まり、一大学を持ている。」という。「大学などのでは、「大学など」という。「大学などのできない。」というなどは、「大学などのできない。	行業設置シュー般機関希望者場架日早可不康背年今館の機能器と至	青年會文藝部のA11來五月615.53 河記講習(曾開設)	리시	一般でいる二千段が3週間場では一般で外名の足が前にある。 無すり 解離し	复罗包	青年食の対比側立以後事務を含め 順川 連動場新設 受や	
大型的 11、100 净 本 天教前 九00	を顧臘番用♀왓△리로中今井 3個番勿論を立此番選抜さ叫 七不 5動間省3 激増を殊が顯着 500何 馬勳	「門ミイドドリノルガリノル・デリスイドを公司は、「別の一人」の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	火ダロ父母をユピュ見竜を三月母人のレイのとその呼楽で五瀬遠さ	5点人其社斗を且今方死也が「指金さ果然ユ引父子其時學校の「断者とは、明代の一種とは、「明代」の「明代」の「明代」の「明代」の「明代」の「明代」の「明代」の「明代」の	四小子宮時의困難で日生徒夢時二世十分	十名31年徒養得各意想起多時熟9日本名31年徒養得各意想起多時熟9日本	r 製象量が対対の立市内量巡覧左5UT 正時の主徒量募集でブス 馬い	5級で中半島教育5後事で一競馬牛以來則韓 興時代보러今日々日本	6 川言で기量「自己ら明治四」會、山上慶賀多現象の「自己ら明治四」會、山	必服すり、モス不知らり合う。 大学の代表の一句の一句を表現の一句では、 では、これでは、これでは、 では、これでは、これでは、 では、これでは、これでは、 では、これでは、これでは、 では、これでは、これでは、 では、これでは、これでは、 では、これでは、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、これでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	以人士を目見をといり入せらと援助を迷惑の 終え ひと者 7無さり でふ	TV 電影等三曲を重加量では小川MVのJ昨今非常さい教育コ關係為先の関係の現時の対ける教育型関係の表現の	■見き挿入での論 立べる 良上当でと同時談氏의案中記者의 十四	公不可い宿志善其刑で台湾切即明らを堅すと同時の種々の案を受け	語のL勿論一投人士に祭祀する話様で「移口」	ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 では、 では、 では、 で	2名の采用では見りででなる女子のでは、「一致を貼った。」とは、「これでは、「ないない」とは、「ないない」とは、「ないない」という。	「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、これでは、「一種では、これでは、「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、「一種では、	-		打革 的 時風 医双	_		仁川八景 養成	請り外の訪問が外田口校舎の有名	の今井氏之更が予りが來宮少なのと思わられば、 関係はののは、 日本のは、 日本のは	日本学用を一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一	京外田山鉄氏が日自己生産 かん	全でゆ予ル質問をリ是現今書組合	水育皆及策の動きの論談   ラスス	に川公野佼長今井閣之助氏して、高力宮の豆思慮で長い過俗でいる。	用さい一人のブラミロ普及・コンの水平見高数ア放射を七時量中のゴ	を中口が攻撃的リ王を吐手で成る 者が恒常敬育を知何が支配を表し に川達加が一覧者・ ・	<b>青型二百五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十</b>	川法案 (上 英語	文含二重使 \$3	郷光宮山無異宮状態空山手 いきる	39多情を維持の日本者でストラーのでは、1992年の日本者では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の日本語では、1992年の199	の動きに思想と近日は限されている場所が、9.9日では一十十十十一〇十十十十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	地域以來日本以文明状態以 むせん	、衛生、家敎其他権援等役引情者不宜主豆を厳禁、教育、工業務宅を選되りいする時間は日本明以吐る	時度3目的2星雲局2星星/加此が15日今般各地方3番壁の使 近さい十十年各地養親繁で五種任態定員	ROE 对地位对话可以 Programs
の後入(92) 一面の門を使いこ	の情に非常可高峰、中後來!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	はまい有で父といかがは馬 位置があった。 大道の無ち中はされる冬季の三 大道	・土曜一日全動馬当奉行り無・man	501 明明二十萬間以上列至5五萬十萬四多數5達10五月	百の選び外中の全国で外中	金々は盛でコ利金三が是イ位5円後では設立日外に日本が最下の四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	一般ので、一般では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、	1、鳴尾 35 世 数馬 、画館競馬 1、總武競馬 1、總武競馬 15、北海道		るいさ形勢呈一時で勃興で「Ji速度」以下腸で気合の豆動局熱oL格で非	す中御路寺 三有さり 五御賞 司優秀其擧行・際ららい百方ら三人国司	で日外攻行の日本化学を動馬匹?東下蘇馬會京濱蘇島俱樂部コンプ馬券・第十名計99名の豆/パラ	行益宮の三部龍口ン競馬官以上で	治三十九年の早旦日民法三、三年を追認刊到外中	馬屋張興王斗斯條司馬斧コ 然う山下ス全帳店 or 其態勵策 o o b a	を では できる	を漫画が確対失び父に引化しの動場外がでの動場の姿態に促了の動場の変態に促了。樂部の	人が主トロアチン十馬チ山 勝馬掛り無す 巴路大村 ロステップ 勝馬や	E文化人の意志州の馬舎川 苦心女間ツラ競馬ル廃馬改良上の   普心女	の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一段州の耶村脚趺の育大規で立来良의一大製件の多丁勝利民の記述の話を記述した。	REMMES E 1 発馬小馬 観覧者プログムト 然の十一部의人 百頭を利用できょ 放射・ 意思 フタ百頭を	利日かれ、見英型時尚が全頭の Fの各へ産馬地方の分と歴別 洞です	英助が結果外國力の發展でお状態与の特別は清戦争後のと産る出ま	1970年初次諸島『五米雄』「1970年7月1日初次、諸島『現仏』(1971年)「1971年)「1971年)「1971年)「1971年)「1971年)「1971年)「1971年)「1971年)「1971年)	火ム十緒所의 競馬の御鷹幸一・世邦人의 加入させ者が極る種が極る種の生物を関いています。 極い かいかい はい かいかい はい	い明治의初期のい國民の2 政長の日本の場合の別別の以國民の2 政長の2 部番公	馬術變遷史下篇、新	7年日で上中(未完) 韓馬曾	T市式山麓全景的 E 牧皇地 7 22mm 星中故是于 三恒常此差失力 五經營 恩心 2 5 4 9 9 0 回 简本 2 管区盡	27年の一大学・月月卅月七十二年の1978年の1987年の	20世紀川河青川泉脈で表示して放摩部心でも母親り有宮町治四四数でもび名目見でエ仏川数計開	人の日後日父母者怨恨をみをと聞かり、日の日の父母の民成をの己時	者教育を今か智才引い如何事態域政育物典を付許ら三三年の日の三三年の日によりの日にはない。	2012年1日 1012年 101	つの中さい年を明年の号に、原奈々人の中さい年を明年の号に、別年三年の日に、明年三年の日に、明年三年の日に、明年三年の日に、明年の日に、明年の日に、明年の日に、明年の日に、明年の日に、明年の日に、日本の日	2十四歳十五歳十月七日今。16万事へ集り4歳房が照をリテルでリテル設行等へ乗り4歳房が照をリテル設行等	7年に日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	は対比が中にはイインのは、対している。	四角の変数を表する三種別の共和の場合の変がある。	不無可が見いは、対象をは、大学の対象には、大学の対象には、大学の対象をは、大学の対象をは、大学の対象をは、大学の対象をは、大学の対象をは、大学の対象をは、大学の対象をは、大学の対象をは、大学の対象をは、	現象の機可を質量中の世帯である。 東京の大学の大学の大学のでは、東京の大学のでは、東京の一大学のでは、東京の一大学のでは、東京の一大学のでは、東京の一大学の大学のでは、東京の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	
	羅 成 與 支 局		不支局当一層振張引送での一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	<b>華 岩</b>	事務吸原 世 <b>銀</b> 素競	安 号 を とて ところ は 一番の は ことの は こと	立き 新聞販 賢廣告取扱 幸全南光州郡邑内 8光州支局	社告	現一の以下の四秒三月9日 夏買業時代三尾終 ピー〇八をフ	度と一哩一一四秒 モスの 港州市産進行を呼馬券頭石前	労を駿馬号購入立結果豆馬工具後の豆馬政局、分年々	2. 馬券は代州優秀を入り輪への馬券般比後의記録り中	8千嵐。モン。千圓85道台北のいの最前優良を『小中早間	と減少すユ馬山三馬券時代株式の宮田難の三出場頭数外加き 清	7現在の在並競馬會运殆可	· 長日、中観見省の興味量添	対弦行を次の始初三現在	及票は下正三年東京競馬俱渡日の時間投票の中	は結果値可編出を次の現今一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一	以良三不能で中馬爭思想の一定處すの如斯がようなど産	馬獎剛量考慮でご識者と郷系	日三非常可少でガヨの變化 清	一次の四十三年のと一千二十二年の日十二年の七二千六百歳 ———	17日中川地馬数三非常可以日子飼養物子代え天戸	· 三年の5二十一萬三千四	(金五十七萬一千週のモス)維持利耳外へは四十一年	後、設備費等含補助する。	《郭之号》 57十一就馬俱樂為《藤技(大正六年驅島號		祖文は精詩記録川技されていた。	<b>労当發資 # 禁止判与諸馬</b>	十一年の秋期の至すの突	題心の有せ者至さゆる頻	大山 節 村 公 前 接 報 の 外 音 か ま か ま か ま か ら か ら か ら か ら か ら か ら か ら	全場質すの設置対で傾向	計の狂奔を5 至文父ム中	をあり、25mmの出版の現代を表現であり、15mmのは、	を受ければない。 近年の一般の一般の一般の一般の一般の一般である。 「一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	の動場分と進む一二年内 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	進步至顕著立スの見及い	東三城計画圧oが各地方。 市場で以上を次つの合立三 市場では新聞子日本版立 市場では新聞子日本版立 市場では新聞子日本版立	度が適定スのJー高級以上の出場ではスの日高級以上の出場ではスの日高級以上	
南大門 要前 * 10 華 八 0 3 前 ル (	金昇	清華路院		<b>基</b> 輔 明 華	<b>脉一商會</b>	詞		電話三一四番	崔壽	新岩洞		電略でラグラコー	走 趙昌 世	* 清津海岩洞		電話一七六老	<b>商辛良極</b>	<b>清净</b> 新吳 <b>洞</b>		電話 七七米	如系 植商 李 截 西 会	10			學與	申朱 聡 民 中	7114	支店上三峰驛前	本店會寧驛前	東西經過支店	T I	電話一大八番		2富春組經支店 愛		電格(豆火ンチョ)	#趙伯元神	<b>清神府新岩詞</b>		4		祝豐咸北支	
00前11年0後 11日後 11日後 11日後 11日後 11日	j	神土長影膚	[	情 紅眼文字文字 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	秦服 \$P\$ 利 見	章 <del>制</del>		11 話 七六番	質層	净新岩洞			紳士黃元吉	清津		電話三匹番	<b>娼妓十一人</b>	美.子_				•	<b>±</b> 千 鍾 萬	明月梅	•	清津新岩洞 —			<b>士鄭顯禹</b>			電話三八番		海灣 昌北商會 宏	<b>可奈藤</b>	崔春和	理種	清神. 岩詞	支 店 仓字职前	金李 星承 奎 <u>日</u>	大同運送部	局發展	
10技术10001000 湖大田雲	博	<b>新</b> 月	色产	淡桃 金香	i ž	定皮婁	清津新岩洞	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	津	10 ,	產婦人科 <b>規</b> 內 外科 清 第 岩		井易中 巫 般業 (三) 二二 レ 強道貨物取扱業 (三) 二二 レ		張文	_	消津府新				貿易商 金 基	的 鮮 清 津	裁競化笪货助寺段夏羊服物館 滿 鮮 產 雜 穀 類 直 輸 移				貿易商 黃	清津新岩园			徐林	<b>小朴</b>		本所技工無一137特點。9年故	務書開始での山麓利名刊の上半瀬川の開始十萬の三里も三活		無略(キョ)又はる)	三七五 炒		樂勳	長張世憲		
	新疆	石洞	E 月	帝 <b>酒菜</b> 日		響命 金 湘 默	<b>利岩洞</b>	少值	校器	意注射	海醫院	電話二二	光組運送部	=	泰 李 秀 昌	合			义 七八十 ト		-	-	作一手版 2		衛略コウ叉と勢		鍾國	洞		火はキョン		<b>民庸</b>	版所	北鮮效位と沓前愛願でとき状で	《所滅張惟一의目的》? 敏話精 対驳工場を三人의組合の三令春手があるほり第名の三世書作献一			1	方各先	東一堂乾材辰	• }	清津新岩洞 ——	
	香季柱東買事 朴利華 迎東不助東京 朴利華	主李王顺	北鮮理髮部	清津和岩洞	老 建二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	大東理髮館	新	東 李 李 主	清津初岩洞		客業 李 載 鳳	F	多	新舊了 小 七 处 一		金台成		5 4	神士長台次	有用 耳河	4	では、一般の表現では、一体の表現では、一般の表現では、一般の表現では、一般の表現では、一般の表現では、一般の表現では、一般の表現では、一般の表現では、一体の		活木珍男舍	老門公田老是官一		朴炳華	清津府府吏員	質(ハー)	<b>繊維金有質</b>		<b>有</b> 男 作	ŧ	2 H	海通物源 李 引 生 四		<b>警警李成根</b>	<b>有净新生</b>		精動編 李 圭 竭	两战源	<b>大日間四川 東東城市</b>	
用	花柳病国病理説川県代書県と一次試治すれる	學的神樂可以科	内卫力	天権等	期二			が	N.			はいいから	モート			网络雅俊的 李 斗 熙	清津新岩洞	1	網は作味前「日茶」。愛	5	親業レラ・立目	精 印 章 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 ·		碰	日神・日とこ		<b>性類雜貨商</b> 白 雲 鶴	清净新岩祠	北鮮一手販買	酒 孫 應 使 庙	間車所持同 	<b>花画树 泰 洪</b>	物岩洞	前、 母又 た	<b>胸</b> 中	<b>清津</b> 料岩祠	<b>建</b> 金 榮 恒	•		<b>製物外在</b> 尤		<b>建設                                    </b>	